



文教福祉 常任委員会

第4保育所建設の進捗状況を調査

県産木材を70%使用 明るく広々とした建物に期待！

宣子 夫彦 志
治 惠 俊 武
木 美 辺 見
津 友 渡 浅
宇 三 原
委員長
委員 長
副委員長 委

今回はこのメンバーで、新第4保育所建設工事の進捗状況を調査しました。



●第4保育所建設の経緯

第4保育所は昭和40年に開所し、既に48年が経過しています。人口増加に対応するため、増改築を繰り返しながら子どもたちを受け入れてきましたが、建物は老朽化が進んでいます。玉村町の児童数は減少傾向にあります。しかし、保育の低年齢化などで保育ニーズは増加し、年度途中には待機児童が毎年度発生しています。これらを受け、玉村町次世代育成支援地域行動計画において老朽化した第4保育所を建てかえることとなり、平成26年6月に着工となりました。

●待機児童解消に向けて

新第4保育所では、年度途中で発生する待機児童（低年齢児）に対応するため、0・1歳児の受け入れを拡充しています。平成27年度は、180人定員のところ133人が受け付け済みですが、0歳児は既に定員に達しています（1歳児には余裕があります）。※新第4保育所の開所及び民間保育所の受け入れ等により、平成27年4月1日時点の玉村町の待機児童は0人となる予定。



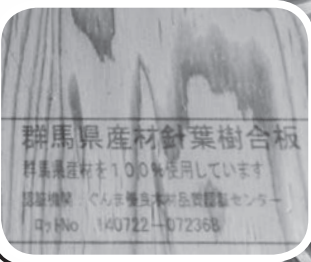
明るく広々とした長い廊下

まとめ

現在地の東へ移転建設となった新第4保育所。建設工事現場を視察し、地形も非常によく、建物も適切に配置されていることが確認できました。群馬県産の木材を使用した明るく広々とした建物であり、長い廊下が印象的です。工事もほぼ予定どおりに進んでいます。平成27年4月の開所に向け、今後もスムーズに工事が進捗し、「子育てするなら玉村町」のシンボルとなるようなこの保育所が1日も早く開所することを望みます。



群馬県産の木材を70%以上使用しています。



議会運営委員会

議会改革に有効なアイテム

タブレット端末の導入効果を調査



委員長 三友美恵子
副委員長 町田宗宏
委員 備前島久仁子
筑井あけみ
石川眞男
宇津木治

今回はこのメンバーで、埼玉県飯能市議会の議会改革への取り組みを視察してきました。



● 飯能市のタブレット端末導入の経緯

埼玉県飯能市は、環境マネージメントシステムを導入し、環境に配慮した活動を推進していました。そのような中で、紙の削減目標達成のために、議会はタブレット端末の導入を進めました。

平成17年に名栗村と合併した飯能市は、議員定数の削減（8年間で26人から19人になる）を行い、平成24年には議会基本条例を施行。そして平成26年には議会改革特別委員会を設置し、積極的に議会改革を進めています。

● タブレット端末の導入効果

飯能市議会では、議員にタブレット端末を貸与し、議会活動に必要な情報収集や事務連絡などに活用しています。タブレット端末を導入したことで、次のような成果がありました。

- ① 年間約210万円の費用削減
- ② 年間約10万枚の紙使用量の削減
- ③ 事務の改善
- ④ 情報伝達の迅速化
- ⑤ 政務調査活動の充実
- ⑥ 危機管理対応の向上 など



活用しているタブレット端末

まとめ

飯能市議会のタブレットの導入目的はペーパーレス化と経費削減でしたが、それらは議会改革としても成果を上げています。

タブレットの導入は、今後のIT推進とともに各議会に波及していくものと思われま。議会改革を進めようとしているのが議会においても、タブレットの導入を検討する必要があらと考えます。ただし、これは議会だけで進められるものではなく、今後執行部とともにタブレットを使う環境づくりや、タブレットを使ってどのようなことができるのか研究をしていく必要があると思います。

6. 導入効果 ()内は 24.25 年度決算額合計

- (1) 費用削減効果額 年間約 210 万円 (443 万円/2 年)
 - ① 全員協議会資料削減額約 24 万円
 - ② 本会議会議録冊子廃止：印刷製本費約 186 万円
- (2) 紙使用量削減枚数 年間約 10 万枚
 - ① 全員協議会資料約 24,000 枚削減
 - ② 本会議会議録冊子分 74,400 枚削減
- (3) 上記以外の導入効果
 - ① 環境負荷低減
 - ② 経費節減、事務改善
 - ③ 情報伝達の迅速化
 - ④ 政務調査活動充実
 - ⑤ 危機管理対応の向上

